

GREEN RADAR

Vol.479
2019

4

Contents

平成31年度のスタートにあたって

A-Reports

- ・平成30年度 長野県A・コープでの食育活動実施報告 2
- ・東京販売事務所での下半期果実販売促進の取組み 3
- ・カーリング選手権大会で県産品をPR 4
- ・がんばれ松本山雅FC！ 2019シーズンも応援します 5
- ・花束を持って歩こう ～フラワーホワイトデー～ 6
- ・JA長野厚生連に福祉車両を贈呈 6
- ・ふるさとの食につぼんの食 7
- ・まつもと焼きコン 7

- 平成31年度 機構・分掌・要員について 8
- 平成31年度 全農長野県本部機構図 9

A-Board

- ・御嶽海関のラジオ時報を放送中！ 10
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・4月の動き 10
- ・編集後記 10



平成31年度のスタートにあたって

全農長野県本部 県本部長 小林哲男

長野県本部の新年度事業がスタートしました。職員一同新たな気持ちで農家組合員の営農と生活への貢献とJA営農経済事業の発展に取り組んでまいります。会員の皆様の引き続きのご支援をお願い申し上げます。

県本部の平成30年度決算は、供給販売高で2,765億円、計画対比101%を見込んでいます。

昨年度は春先からの温暖な天候により作物の生育は前進し、青果物は早いペースでの販売展開となりましたが、夏の高温と干ばつ、秋には連続して襲来した台風による被害も発生しました。6月には大阪北部地震、7月には西日本を中心とした豪雨、9月には北海道胆振東部地震の発生で国内の農業生産と流通に甚大な被害がありました。また春先にはりんご黒星病の新たな拡大があり県内一斉に水際

対策を実施しました。年明け2月には豚コレラの県内への感染があり多くの農場が監視下に置かれる事態となりました。こうした中でありましたが事業計画を超える決算が見込めることは会員の皆様の絶大なご協力の賜物であり改めて感謝いたします。

新年度を展望しますと、大型経済連携が本格化する新たな環境下での事業展開となります。昨年12月30日にはTPP11が発効し、今年2月1日にはEUとのEPAが発効しております。4月1日にはそれぞれ2年目の関税が適用されており、一層の輸入圧力がかかっているものと認識しております。更にアメリカとの2国間の交渉では早期の妥結と発効も想定されます。

世界の景気は米中の経済摩擦の影響を受け減速懸念も強まってい

ますが、10月には消費税の10%への増税が予定され、軽減税率の適用はあるものの、農畜産物販売への影響は未知数であります。

全農については、4月より32都府県本部の体制となりました。2県において1県1JAが発足し2つの県本部が廃止され事業移管が行われました。かつての統合時では想定されなかった事業方式で「事業2段」が進行しています。

この5月には農協改革集中期間が終了し、改革の成果を評価して次にすすむタイミングとなります。我々としては既に次期中期計画を策定し、重点となる取組み事項を整理してきたところです。新たな中期計画では、長野県の農業生産基盤を維持拡大するための提案と技術的な支援、また農畜産物を販売する力の更なる強化、資材コストの引き下げと事業拠点の合理的

な再配置を目指していきます。生産振興では新たに生産振興部を設置し従来の営農センターにおける農業振興業務を更に強化してまいります。

県本部の平成31年度事業計画は2,775億円としました。事業計画達成に向けて職員一同粘り強く努力していく所存です。会員JAの皆様のがますますのご支援ご協力をお願い申し上げます。

2019年4月1日

県本部長 小林哲男



平成30年度 長野県A・コープでの食育活動実施報告



お買い物ゲームをしながら店内を回る

JA全農長野生産販売部の総合宣伝事業では平成30年度、本会が正会員として加入している（一社）ファイブ・ア・デイ協会提供プログラムを活用し、(株)長野県A・コープの協力を得て同社の県内各店舗で実施する子ども向け食育活動に協賛しました。

食育活動の実施店舗では、ファイブ・ア・デイ協会の食育インストラクターによるゲームやクイズを取り入れながら食べることの意味や大切さを知ってもらう、幼稚園・保育園児向けの「5 A DAY

たべるのおはなし教室」、店頭に並ぶ野菜・果物などの生きた教材に触れながら、食材の特長や食べることの大切さを楽しみながら学ぶ小学生向けの「5 A DAY 食育体験ツアー」などを、近隣の園や学校の子ども達を招待して行っています。今年度は同社全体で、のべ70回の開催をし、この機会



お買い物ゲームでお支払い



「たべるのおはなし」を聞く園児たち

が子ども達にとって、野菜・きのこ・果物を食べる、買う、興味を持つきっかけになっています。

このように次世代を担う子ども達を対象に、JAグループの組織連携を活かし、正しい食生活のあり方や青果物の大切さを知る機会を作り、長野県産農産物の消費拡大につなげるという長期的な活動を、継続して展開していきたいと考えています。

東京販売事務所での 下半期果実販売促進の取組み

J A全農長野東京販売事務所は今年度、のべ650店の量販店での試食販売や、イベントおよび社員食堂での試食会を行いました。その中でも反響が大きかったものや、今年度初めて取り組んだ企画について紹介いたします。

都内の社員食堂で試食宣伝会

1. 秋映の試食宣伝会

10月に(株)みずほ銀行の社員食堂で、800名に秋映のサンプリングを行いました。「秋映を初めて知った」「おいしかったので、スーパーで見かけたら購入します」と、認知度向上と購入促進につながりました。同時にシナノスイートとシナノゴールドも紹介し、りんご三兄弟のPRも行いました。

2. サンふじ・シナノゴールドの食べ比べ

11月に、J Aあづみ・J Aながの協力の下、(株)ファーストリテイリングとソフトバンク(株)の社員食堂で、サンふじとシナノゴールドの食べ比べを行いました。比較的若い利用者が多く、「りんごはめったに食べない」という方が

3割ほどいらっしゃいましたが、味は「とてもおいしい」と好評で、「りんごを食べる良い機会になりました」「久しぶりにりんごを食べました。おいしかったです」との感想をいただき、改めてりんごのおいしさを知っていただくことができました。

りんご詰め放題

10月から11月にかけて、生活協同組合ユーコープ(本社/横浜市)の16店舗で、りんごの詰め放題販売を行いました。10月は、秋映、シナノスイート、シナノピッコロなど9品種を揃え、中生種にも様々な品種があることをPRしました。

11月はサンふじ、シナノゴールド、シナノホッペの3品種で実施しました。

同店舗では初めての企画で、珍しさに足を止めるお客様が多く、「どの品種も味の特徴があっておいしい」「家で食べ比べ



ユーコープ・りんご詰め放題(11月片倉店)



りんご食育授業(品川区立豊葉の杜学園)

をしてみます」と、お客様にも品種ごとの違いを楽しんでいただけました。また、天候災害を受けた下位等級品も同時に販売し、着色ムラやキズがある果実でもおいしく食べられることを直接伝え、理解を深めていただきました。

小学校での食育授業

品川区の小学校2校で、りんごの食育授業を行いました。野菜ソムリエと本会職員が、長野県の紹介やりんごの栽培方法について説明し、児童からは「りんごも花が咲くことに驚いた」「一年をかけてりんごを作っているんですね」と驚きの声があがりました。試食は、秋映・シナノスイート・シナノゴールドのりんご三兄弟を用意し、「味の違い、香りや手触り、食感の違いを感じる

じてください」と伝え、試食後に味の感想を言いながら自分の好きなりんごを発表していました。後日、担当教諭から「たくさんの児童が、さっそくスーパーで長野県産りんごを見た、購入した、と言っていました」と聞き、品種の特徴を知ってもらったことで、りんごに興味を持ってもらえたと思います。

ブドウ売り場コンテスト

9月から10月にかけて、様々な店舗で長野県産ブドウフェアを実施していただきましたが、このうち(株)スーパーアルプスでは、フェアとあわせてブドウの売り場コンテストを行いました。店舗ごとにPOPや什器を工夫して見事な売り場を作っていた、お客様の関心を惹くことで期待以上の売り上げとなりました。バイヤーや店舗担当者にも大変協力をいただき、次年度以降につながる企画となりました。

東京販売事務所では、店頭はもちろん様々なチャネルを活用し、幅広い消費者層に長野県農業および農産物の魅力を伝えるべく、消費宣伝事業に取り組んでまいります。

カーリング選手権大会で県産品をPR

第12回全農日本ミックスダブルスカーリング選手権大会



MVP賞を授与する全農経営管理委員会の大澤憲一副会長(左)とMVP賞の藤澤五月選手(中)、山口剛史選手(右)

J A全農長野は、3月12日(火)から17日(日)に軽井沢で開催された全農日本ミックスダブルスカーリング選手権大会で、長野県産農畜産物のPR活動を行いました。

出場した21チームにりんごジュース1箱(30本入り)を参加賞として贈呈したほか、優勝チームへの副賞は信州プレミアム牛肉・信州ポーク・県産きのこセットを提供。また全農より上位3チームには県オリジナル米「風さやか」合計500kgが贈られました。

16日(土)と17日(日)には来場者に「えのきヨーグルト」を試食していただきました。インパクトのある商品名に、県外からの来場者は「えのきって、えのきたけが入っているんですか」と驚き、県内からの来場者は「スーパーで見て気になっていたけれど、買う勇気がなかった」と言って受け取りました。味は「なめらかでおいしい」「ヨーグルトを食べながらえのきたけの栄養も摂れるなんて、すごいですね」と好評で、多くの来場者から、どこで買えるのか

と聞かれました。同時に、4月に販売される全農が原料の国産大豆を提供した「フィナンシェ」「ソイリッツ」も配布し、新発売をPRしました。

全農では各種スポーツ大会に協賛しており、全農長野では長野県で開催される大会や地方大会に副賞を提供しています。このような機会を活用し、県産農畜産物のPRとCSR活動に取り組んでいます。



来場者にえのきヨーグルトを配布



えのきたけ抽出エキ스가入った「信州発えのきヨーグルト」



ソイリッツはプレーン・チョコレート・抹茶味の3種類

※表紙左上の写真/副賞を受け取った選手

がんばれ松本山雅FC! 2019シーズンも応援します

JA全農長野は、プラクティスウェアスポンサーとして今シーズンも松本山雅FCを応援します。

ホーム開幕戦の3月9日(土)、「きのこスープ」の振る舞いと、ベンチコートの贈呈式を行いました。

開幕戦での温かい汁物の振る舞いは恒例の行事になっており、この日はJA松本ハイランドと協力してえのきたけ、ぶなしめじ、なめこ、エリンギの4種類をふんだんに使い、味付けはきのこ課オリジナルの「きのこを食べるスープ・コンソメ味」できのこの旨味たっぷりのきのこスープを振る舞いました。Jリーグとあって地元はもちろんなアウェイサポーターの来場も多く、特設テント前には開始前からサポーターの行列ができ、用意した1,500食は1時間あまりで配り終わりました。スープを受け取ったサポーターは「いつもありがとう。体が温まります」「具がたっぷりおいしい」と言いつつ味わっていました。

一方、キックオフ前にはピッチでベンチコートの贈呈式が行われ、全農長



神田社長にベンチコートを手渡す髙田副本部長



きのこスープを受け取るサポーター

野の髙田武司副本部長が松本山雅FCの神田文之社長にコートを手渡しました。神田社長は早速コートに袖をおし、スタンドを埋めたサポーターに披露しました。コートは黒色で右胸と背面に「三ツ山マーク」と「JA全農長野」の文字が入っています。ベンチコートの贈呈は2010シーズンからで、今シーズンの40枚を合わせ385枚となりました。

松本山雅FCは4年振りにJリーグでの戦いに挑んでいます。全農長野は松本山雅FCの集客力を活かし、県産農畜産物のPRと地域に貢献する取組みを進めます。



花束を持って歩こう

「フラワーホワイトデー」

JA上伊那、南信ハウスカーネーション組合、JA全農長野は、県産アールスメリアとカーネーションで作った花束を持って歩いてもらうというイベント「フラワーホワイトデー」を3月14日(木)に行いました。ホワイトデーをはじめ、転勤、退職、卒業など花を贈る機会が多い3月に、花束を持って歩くことで「花のある暮らし」を街頭でアピールしようと、JA上伊那のアールスメリア、南信ハウスカーネーションのカーネーションで



(左から)南信ハウスカーネーション組合の上条組合長、中島副知事、JA上伊那の御子柴組合長



作った花束540束を予約販売しました。

同日は、JA上伊那の御子柴茂樹組合長と南信ハウスカーネーション組合の上条正明組合長、田中彦市副組合長が長野県の中島理恵副知事を表敬訪問しました。御子柴組合長が「バレンタインのお返しホワイトデーは、お菓子ではなく花束をもって歩いてもらいたい」と花束を手渡すと、中島副知事は「今年は信州花フェスタ、国際フラワーフォーラムとお花のイベントが続きます。長野県の花の魅力をしっかりと伝えました。」と応えました。

JA長野厚生連に 福祉車両を贈呈

JA全農長野は地域医療に役立ててもらおうと、JA長野厚生連に福祉車両7台を寄贈し、3月13日(水)にJA長野県ビルで贈呈式を行いました。

全農長野の小林哲男県本部長が「中山間地で活躍できるように、燃費の良い四駆の小型車両を贈呈します。地域医療の益々の発展に活用してください」と挨拶し、長野厚生連の杜浦康三代表理事長に目録とゴールデンキーを手渡すと、杜浦理事長は「厚生連は地域密着が大きな特徴です。訪問看護、訪問介護、訪問診療に欠かせない車両をいただきました。大きな感謝の気持ちを込めてお礼を申し上げます」と謝意を伝えました。



寄贈した福祉車両



(左から)株ジェイエイオート長野の滝沢新吾社長、長野厚生連の杜浦理事長、全農長野の小林県本部長

日本農業賞を受賞した市田柿も販売

ふるわしの食にっぽんの食

J A長野県農産物PR協議会は3月9日(土)と10日(日)の両日、NHK放送センターと代々木公園(東京・渋谷区)で開催された「ふるさとの食にっぽんの食」全国フェスティバルに出展し、リンゴ、きのこ、市田柿、長イモ、加工品をPR販売しました。



多くの来場者で賑わうブース

今年は、第48回日本農業賞集団組織の部で大賞を受賞したJ Aみなみ信州柿部会の市田柿を初めて販売しました。試食をした来場者は、「お砂糖を使っていないのに、こんなに甘い?」と、自然の甘さに驚いていました。例年販売しているシナノゴールドは4玉500円の価格で、多くの方が4個・8個と購入していました。きのこは黒あわび茸とヤマブシタケに興味を持つ方が多く、おすすめの食べ方を説明し、レシピを渡しながら販売しました。プルーンジュースは「昨年もこのイベントで買っておいしかったから」というリピーターのお客様がケースで購入していました。

イベントでお客様と接すると食べ方を聞かれることが多くあり、レシピを提案しながら販売することの必要性を改めて感じました。



きのこは食べ方を説明しながら販売

まつもと焼きコン

信州の畜産・酪農家との焼きコンパーティー2019

長野県生乳生産販売委員会青年部会、J A長野県・信州肉牛生産販売協議会、J A長野県・信州ポーク生産販売協議会は2月23日(土)、松本市の味楽苑伊勢町店で「まつもと焼きコン」信州の畜産・酪農家との焼きコンパーティー2019を開催しました。

イベントを通じて畜産酪農事業に対する理解醸成と交流を深めてもらうことが目的で、長野県内の若手畜産酪農家の男性8名と、畜産酪農に興味があり焼き肉が好きな女性8名が参加しました。

パーティーでは、焼き肉交流タイムでお互いに自己紹介し、参加者同士が活発に会話をするなど、賑やかな雰囲気の中で交流していただきました。最後のフリータイムでは、参加者同士でメッセージカードを交換し、男性から女性に乳製品セットをプレゼントしました。

畜産酪農部では今後も、長野県内の畜産酪農事業の発展と活性化ならびに若手畜産酪農従事者の連携強化に取り組みます。



平成31年度 機構・分掌・要員について

I. 基本的な考え方

1. J A長野県次期長期構想3ヶ年計画に連動する中期事業計画(2019~2021年度)に基づき、J A・県域および子会社と統一した戦略のもと、効率的一体的事業運営体制により農業所得の増大と地域の活性化に取組む機構・分掌とする。
2. 生産事業においては農業基盤維持拡大のため、マーケティングを基点とした積極的な生産振興をはかるとともに、総合品目供給による販売力強化と生産資材コスト低減による生産者手取りの最大化を目指す体制を構築する。生活事業においては、業務の効率化と収支改善による競争力強化をはかり、ライフラインの充実を目指す体制を構築する。
3. 県本部グループのガバナンス体制・コンプライアンス態勢の推進および県本部総合経営管理の堅持により、部門別事業競争力強化と経営基盤の確立をはかり、県域結集の拡大と成果を得る県本部の運営を行なう。
4. 事業・経営環境の変化に対応する業務体制を確立し、専門業務の継続性および事業の効率性の維持強化をはかり、要員は多様な雇用形態による効率的な体制とする。

II. 機構・分掌の主な変更内容

1. 「J A長野県営農センター」は、各連における県域機能の発揮・充実のため、共通機構を発展的に解消し、農業基盤の維持強化を積極的に展開するため、新たに「生産振興部」を設置する。

なお、「生産振興部」には「生産振興課」を設置する他、生産振興に係る円滑な種苗の普及推進および安定供給をはかるため、生産販売部より野菜種苗センターを移管する。

2. 販売事業については、生産販売部に「専任部長(営業開発)」を配置し、総合品目販売を推進する品目横断的な体制整備を強化する。これに併せ、生産販売企画課は、輸送効率化に向けた体制整備およびeコマース事業拡大をすすめるため、名称を「販売流通企画課」に変更する。
3. S S協同経営課は、迅速かつ柔軟なエリアマネジメントを可能にするため、4駐在を廃止し3ブロックに再編して効率的な業務体制とする。

なお、各ブロックの所管するエリアは以下のとおり。

- 「南信ブロック」
- 「中信ブロック」
- 「北信ブロック」

4. 事業所の生産販売課については、新たに設置する生産振興部および生産販売部に関する業務を対応させる。

以上

人事異動

全農長野県本部(平成31年3月11日付)

《部長級》

- ▽業務点検・コンプライアンス部長 (同部) 西澤孝典
- ▽生産振興部長 (生産販売部副部長) 電野 竜
- ▽生産振興部生産振興課 (生産販売部付) 三石則孝
- ▽生産販売部長 (大阪販売事務所長 岩崎直樹
- ▽生産販売部専任部長(営業開発担当) (同部副部長 長谷川孝治
- ▽生活部長 (同部副部長 池田洋一
- ▽南信事業所長 (生活部副部長) 工藤政文
- ▽北信事業所長 (中信事業所次長) 中田広彦
- ▽総合企画部付 (J A長野県営農センター農業振興グループ) 沖村俊彦
- ▽総合企画部付 (北信事業所長) 小林寛久
- ▽生産販売部付 (J A長野県営農センター長 片桐雅樹
- ▽畜産酪農部付 (業務点検・コンプライアンス部長) 北村 実
- ▽畜産酪農部付 (生産販売部長) 小澤卓夫
- ▽生活部付「山岡先変更」 (同部付) 伊藤隆史
- ▽生活部付 (生活部長) 山崎 進
- ▽生活部付 (南信事業所長) 武井修一

《副部長級》

- ▽管理部副部長兼総務広報課長 (生活部付) 依田 稔
- ▽生産購買部副部長兼農業機械課長 (中信事業所次長兼営農資材課長) 森田陽一
- ▽生活部副部長兼燃料・ホームエネルギー課長 (総合企画部副部長兼情報システム課長) 上原克彦
- ▽南信事業所次長兼営農資材課長 (同事業所同課長) 中村知実
- ▽中信事業所次長兼営農資材課長 (生産購買部副部長兼農業機械課長) 宮澤秀実
- ▽北信事業所次長兼生産販売課長 (東京販売事務所次長) 北原秀樹

《課長級》

- ▽大阪販売事務所長 (生産販売部生産販売企画課長 安武裕高
- ▽名古屋販売事務所長 (長野販売事務所長 佐藤勇人
- ▽長野販売事務所長 (南信事業所次長兼生産販売課長 那須裕史
- ▽生産振興部付 (名古屋販売事務所長 外谷昌幸
- ▽生活部付 (管理部副部長兼総務広報課長 風間貞良
- ▽生活部付 (中信事業所次長兼生活課長 山田展靖
- ▽生活部付 (同部副部長 長谷川孝治
- ▽総合企画部情報システム課長 (同部付) 櫻井秀秋
- ▽生産振興部生産振興課長 (中信事業所生産販売課長代理 小林 博
- ▽生産販売部販売流通企画課長 (東信事業所野辺山駐在所長 山岸順一
- ▽生産販売部米穀課長 (北信事業所生産販売課長 北澤治樹
- ▽生産販売部果実課長 (同部営業課長 根津彰寛
- ▽生産販売部畜産課長 (同部野菜花き課長代理 小原和博
- ▽生活部生活課長 (同部畜産課長代理 井出和士
- ▽東信事業所野辺山駐在所長 (同部同課 甘利隆志
- ▽生産販売部生産販売企画課長代理 古越 悟
- ▽南信事業所生産販売課長 (同事業所同課長代理 小林靖則
- ▽中信事業所生産販売課長 (大阪販売事務所次長 小島敏三
- ▽中信事業所生活課長 (管理部人事課長代理 小池英樹
- ▽東京販売事務所次長 (生産販売部きのこ課長代理 大森秀幸
- ▽大阪販売事務所次長 (生産販売部営業課 若月公一
- ▽畜産酪農部付 (同部畜産課長 滝本勝成

JA全農長野の事業現況▶

平成30年度2月末部門別実績表 (単位:百万円,%)

部門	区分	実 績	計画比	前年比
米	穀	17,274	100	99
果	実	35,592	100	104
野 菜	花 き	66,525	102	112
野菜種苗センター		190	99	101
きのこ		18,185	84	93
営 業		13,302	90	101
生産販売部計		151,068	98	105
包装資材		7,990	93	96
生産資材		11,385	104	103
農業機械		6,562	107	96
施設住宅		4,564	108	111
生産購買部計		30,500	102	101
畜 産		12,823	111	100
三 岳 牧 場		299	105	96
SPF繁殖センター		280	104	111
酪 農		16,997	106	98
ハヶ岳牧場		218	72	78
畜産酪農部計		30,617	107	98
燃料・ホームエネルギー		24,893	115	104
SS協同経営		10,604	112	107
生 活		10,925	97	95
生活部計		46,422	110	102
長野県本部計		258,607	101	103

(内部販売高含む)

4月の動き▶

4/1(月)	新採用職員入会式 JA長野県ビル	人事課
4/14(日)	ナガノきのこ大祭2019 ホテル国際21	きのこ課
4/18(木)	全農中信事業所 JA園芸事業推進協議会総会 ホテルモントーニュ松本	中信事業所 生産販売課
4/22(月)~ 23(火)	長野県・静岡県 セルリー出荷連絡会議 浜松市	中信事業所 生産販売課



3月9日の松本山雅ホーム開幕戦は、PKで先制を許し、今期初黒星となりました。互角の試合内容だったと思いますが、本場に惜しい試合でした。

地元サポーターも大変な盛り上がりで、来場者数1万9千人は歴代3位の記録だそうです。まだ3戦終了したところ、これからどんどん上位に躍進していくと思います。

さて春も近づきかなり暖かくなりました。もう雪の心配はなさそうですね。ただ気温変化はまだ大きいようです。

春先は体調も崩しやすい時期です。皆様体調管理に注意しお過ごしください。

(K)

編集後記

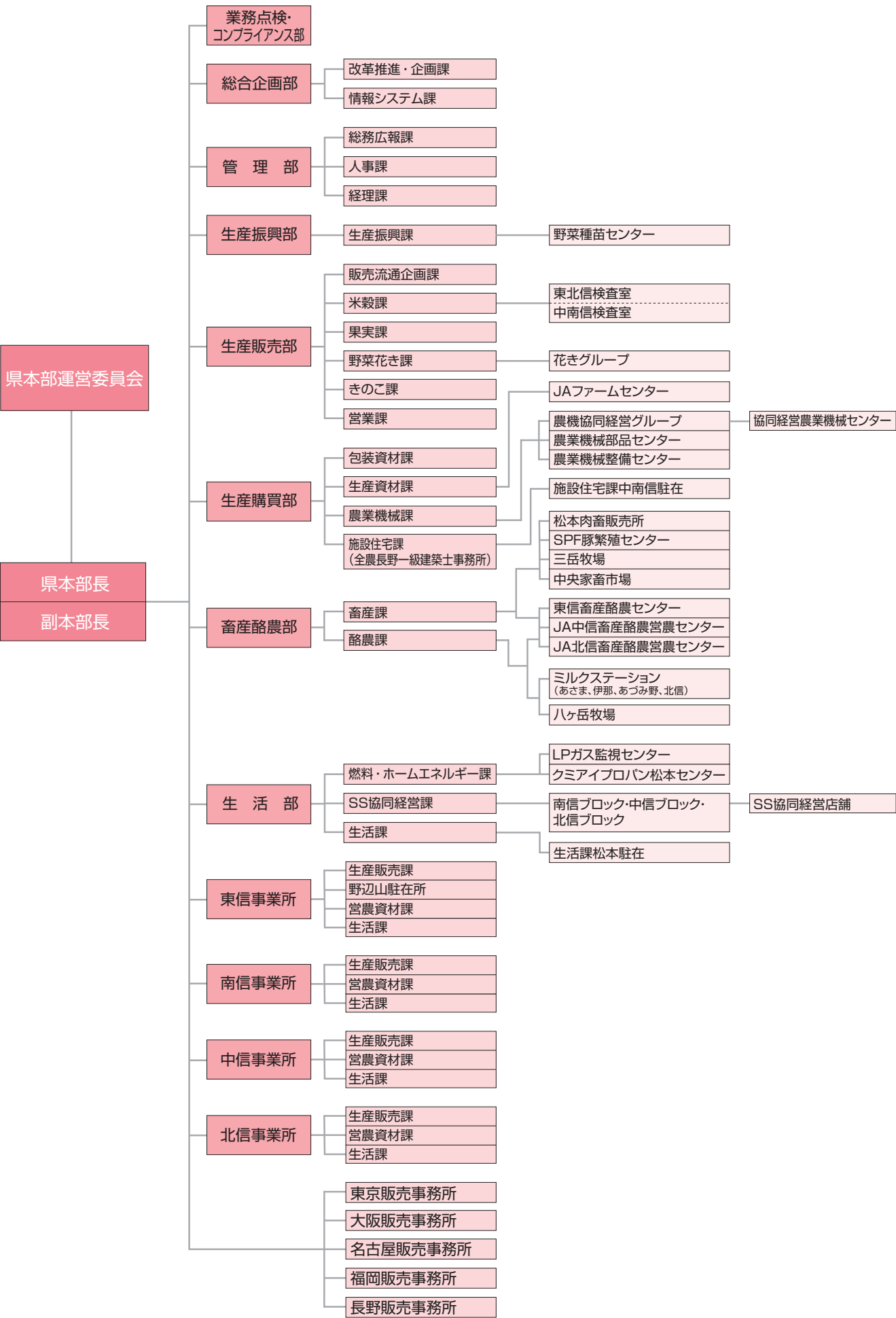
A-Board
御嶽海関の
ラジオ時報を放送中!

御嶽海関がSBCラジオ毎週月曜日17時の時報とともに、旬の農畜産物をお知らせしています。ぜひお聞きください。

【放送スケジュール(予定)】
4月／アルストロメリア
5月・6月／牛乳
7月・8月／高原野菜
9月／長野米(御嶽海関が長野米の歌を歌います)
10月／きのこ
11月／サンふじ
12月／牛肉
1月／信州ポーク
2月／きのこ
3月／農産物(御嶽海関が農産物の歌を歌います)



平成31年度 全農長野県本部機構図



小平奈緒は、 「信州」を食べて 育ちました。

スピードスケート
小平奈緒 選手
所属:相澤病院(松本市)



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

グリーンリーダー4月号(毎月発行) 2019年3月20日発行 第479号
発行/ JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3
発行人/ 小林哲男 印刷/ PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA全農長野ホームページ <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JAタウン」 <https://www.ja-town.com>

